

2023 年 4 月 21 日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

産婦人科手術における術後の悪心・嘔吐発生率に関する調査

### 2. 研究責任者

海南病院 薬剤部 打田由希

### 3. 研究の概要

手術後の悪心・嘔吐 (PostOperative Nausea and Vomiting : 以降 PONV と表記)は、周術期の一般的な副作用で、発生した場合患者さんの術後経過や満足度に影響する症状として知られています。PONV の予防として、発生前の制吐剤使用が有用とされています。

2022 年 10 月より、PONV 予防に適応のある新規薬剤が当院手術センターでも使用可能となりました。これにより PONV 予防の新たな選択肢が増えました。今回使用可能となった薬剤が実際の PONV 発生率へのどのように影響したかを調べるため、本調査を計画しました。

調査項目は、PONV の発生率に関連する内容と、予防的制吐剤の使用有無、PONV の発生有無としています。

### 4. 研究方法

#### ①対象となる患者さん

2021/11/1～2022/2/28 および 2022/11/1～2023/2/28 の期間に産婦人科手術を実施された方。(帝王切開術を含む)

PONV の発生リスクは女性の方が高いとされているため、今回の調査では産婦人科手術を対象としています。

#### ②使用する試料等

カルテ情報：年齢、体重、喫煙歴、乗り物酔い等の動揺病・PONV 歴、内服薬(ステロイド内服薬常用、オピオイド薬常用など)、麻酔時間、術式<sup>\*</sup>(開腹手術・腹腔鏡手術・

子宮鏡手術等で大別、手術部位\*、麻酔方式、手術中の麻薬使用量、術後医療用麻薬の使用有無\*、予防目的で使用された制吐剤、手術後の吐き気の訴えや嘔吐の有無、手術後の制吐剤使用有無、在院日数についての情報を使用します。

帝王切開術の方は上記の内\*を付けている項目を省略します。

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 薬剤部 打田由希

電話：0567-65-2511（代表）